

作成要領

① わな情報

→ 設置するわなごとに位置情報やわなの種類等を整理

項目	入力方法等
わなid	下の方法により設定したidをわなごとに付与
緯度・経度	GPS等により把握（10進法。WGS84）
小班ID	森林調査簿データから引用
メッシュ番号	各都道府県のHP等から入手した鳥獣保護区等位置図（ハンターマップ）のメッシュ図面の番号
わな種類	くくりわな、大型囲いわな、中型囲いわな、小型囲いわな、箱わな
わなメーカー	オリモ製作販売株式会社、有限会社 日本一安い罠の店、株式会社鎌田スプリング 等
わな品名	OM-30型、ハヤブサ小次郎、オール塩ビ丸型120mm 等
誘引剤	不使用、サイレージ、ヘイキューブ、鮎塩、塩水、こめぬか 等
設置手法	なし、小林式誘引捕獲法、獣道への設置 等
事業者名	委託事業の場合は事業者名を記載（職員実行の場合は「直営」）
その他	各官署独自の調査項目があれば追記

※「対象都道府県名」と「鳥獣保護区等位置図」で検索。
※ド롭ダウンリストから選択

わなidの設定方法：下記項目の順に番号を接続して15桁のidを作成

項目	入力方法等
森林管理局コード	3桁の番号を入力（別添参照）
森林管理署コード	4桁の番号を入力（別添参照）
実施年度	令和8年度の場合はR08
事業区分	職員実行は1、委託事業は2、その他は3
事業番号	1～9を各官署で任意に設定（年度ごとにリセット）
わな番号	001～999の識別番号を各官署で任意に設定

例：関東森林管理局利根沼田森林管理署が発注したR8年度の委託事業の場合（事業番号1、わなの識別番号005）
300+1000+R08+2+1+005 → 3001000R0821005 （以降、シート①・④の記載例として使用。）

② わな森林情報

上記①の小班IDに該当する森林調査簿データを抽出する。

③ わな見回り結果

→ 見回り時におけるわなの状況を記録

項目	入力方法等
見回り日	yyyymmdd
捕獲できなかった場合	変化なし（「－」を選択）、痕跡（足跡・食痕等）、脱出（空はじき等）
捕獲できた場合（獣種）	シカ、クマ、イノシシ、カモシカ、その他

※ド롭ダウンリストから選択
※ド롭ダウンリストから選択

④ 捕獲個体情報

項目	入力方法等	
番号	捕獲した順に付与	
獣種	シカ、クマ、イノシシ、カモシカ、その他	※ドロップダウンリストから選択
捕獲方法	くくりわな、大型囲いわな、中型囲いわな、小型囲いわな、箱わな、銃	※ドロップダウンリストから選択
雌雄	雄、雌	※ドロップダウンリストから選択
成獣幼獣	成獣、幼獣	※ドロップダウンリストから選択
捕獲日	yyyymmdd	
市町村	捕獲箇所	
メッシュ番号	各都道府県のHP等から入手した鳥獣保護区等位置図（ハンターマップ）のメッシュ図面の番号	
処置	埋設（穴）、埋設（排水管）、焼却、食肉利用、その他（皮利用、放置等）	※ドロップダウンリストから選択
その他	各官署独自の調査項目があれば追記	
わなid/銃猟id	①のわなid 又は ⑤の銃猟idを記載	

⑤ 銃猟情報

項目	入力方法等	
銃猟id	下の方法により設定したidを銃猟ごとに付与	
都道府県	実施箇所	※ドロップダウンリストから選択
市町村	実施箇所	
出猟箇所の緯度経度	代表地点1点を記載	
出猟日	yyyymmdd	
出猟人数	猟に参加した人数を記載	
猟法	巻き狩り、流し猟、誘引狙撃、忍び猟、待ち伏せ猟	※ドロップダウンリストから選択
誘引剤	不使用、サイレージ、ヘイキューブ、鈎塩、塩水、こめぬか 等	※ドロップダウンリストから選択
捕獲頭数	出猟日当たりの捕獲頭数	
目撃数シカ	目撃頭数を記載	
目撃数クマ	目撃頭数を記載	
目撃数イノシシ	目撃頭数を記載	
目撃数カモシカ	目撃頭数を記載	
その他	各官署独自の調査項目があれば追記	

銃猟idの設定方法：下記項目の順に番号を接続して15桁のidを作成

項目	入力方法等
森林管理局コード	3桁の番号を入力（別添参照）
森林管理署コード	4桁の番号を入力（別添参照）
実施年度	令和8年度の場合はR08
事業区分	職員実行は1、委託事業は2、その他は3
事業番号	1～9を各官署で任意に設定（年度ごとにリセット）
銃猟識別番号	銃猟であることがわかるよう末尾に「Z」を付す

例：関東森林管理局利根沼田森林管理署が発注したR8年度の銃猟の委託事業の場合（事業番号1、銃猟識別番号Z）

300+1000+R08+2+1+z → 3001000R0821z （以降、シート⑤の記載例として使用。）